

平成29年度 第3回高知支部評議会 議事録

開催日時 平成 29年11月 2日(木) 15時00分~17時00分

開催場所 高知会館4階 やまもも

出席評議員 被保険者代表・・・田平正博 島内 勉 折田晃一
事業主代表・・・古谷純代 嘉数 実
学識経験者・・・遠山 仁 横川和博 入福聖一

議題

議題1 平成30年度保険料率について

議題2 インセンティブ制度について

議題3 その他

議事概要

○事務局から各議題について資料に基づき説明を行う

(主な意見は次の通りです)

◆議題1 平成30年度保険料率について

【評議員】 今後の保険料率のシミュレーションで、平成35年頃から急激に料率が上昇していますが、その先もこの傾向が続くのでしょうか。

【事務局】 正直なところ、分かりません。

医療費の増加に加え、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けて拠出金の増加などが予想されますが、あくまでも他の条件を排除して、現在の制度を前提として、賃金上昇率と医療費の伸びで予想している予測です。

【評議員】 岡山で開催されたブロック評議会に参加した印象ですが、1兆8,000億円の準備金がある中で、平均保険料率10.00%を維持する意見は少数派に感

じました。

財政が悪化すれば、保険料率で調整する制度なのだから、平成30年度の料率は下げるべきだという意見でした。

また、ここ数年の平均保険料率10.00%維持と決まるプロセスについて、多くの支部が引き下げの意思表示をしているのに理事長の判断で現状維持と決めるのであれば、支部評議会意見は必要なく、不透明だという意見もありました。

【評議員】 将来の予測の不確かさ、準備金の意義も不明確で、確かに積み上げる必要はないという結論になりますよね。

【評議員】 私も参加しましたが、昨年より本部に対する批判が強くなったと感じました。我々が評議会で議論する意味があるのかな、という部分も同感ですし、将来予測があまり的中していないことへの不信感もあります。

【事務局】 準備金の意義についても、単年度収支均衡が原則の中で、現役世代は自分が属する医療制度についてどこまで責任を持つのか、将来が不安だから上限のないまま準備金を積み上げることへの疑問もあるようです。

【議長】 高知支部評議会としては、さまざまな要素を総合し、今まで議論してきた通り、頑張れば下がるということを実感できるように、平均保険料率を9.7%以下に引き下げるということでよろしいでしょうか。

《異議なし》

【評議員】 激変緩和率で収入は変わらないのですか。

【事務局】 影響を受けません。

【議長】 平均保険料率を引き下げても、激変緩和措置の解消具合によっては、実感の伴わない可能性があるため、セットで考えるべきだと思います。その意味でも、激変緩和率の急激な解消は行わないということでもよろしいでしょうか。

《異議なし》

【議長】 変更時期については例年通りでよろしいですか。

《異議なし》

◆議題2 インセンティブ制度について

【評議員】 実績と伸び率と上昇率、どの項目を高水準で維持すれば点数が高くなるのですか。

【事務局】 指標によって重みづけが異なりますので一概には言えませんが、協会けんぽの取り組み姿勢としては、伸び率と上昇率を高水準で維持して実績値にも反映させていく、ということです。

【評議員】 重みづけについては、議論の余地はありますか。

【事務局】 指標も含めて試行期間中ですので、各支部評議会や運営委員会の協議で調整される余地はあります。

【評議員】 偏差値というのは数字が独り歩きして、ましてお金が絡むとなると、医療保険制度本来の目的を忘れてしまうことを危惧します。

医療保険制度とインセンティブ制度、相容れるものなのかそもそも疑問です。

【評議員】 実績値のほか、伸び幅や上昇率にもウエイトが置かれている…、被保険者は、そんな部分はいくら説明を受けても分からないですよ。

そんな状態で、毎年保険料率が上下するのは如何なものでしょうか。

【事務局】 広報を含めて説明はしますが、確かに全員に理解してもらうことは難しいかも知れません。

【評議員】 個人レベルの話であれば自己責任で納得できるが、自分では求められる指標を全てこなしているのに料率が上がるのは制度としておかしい、ということにもなります。

【評議員】 今の設計では自県の保険料を他県に分けるだけの制度。

せつかく新しい制度を始めるのであれば、本部はインセンティブという言葉を大事にして欲しい。

実績値と伸び率のどちらに重きを置くかという意見は分かれて、そのバランスをどう取るかという話だが、単純に保険料の再分配では…。

【評議員】 どうしても制度自体に疑問が残りますが、運用が始まったら永遠に続く制度ですか。

【事務局】 制度設計や、法律が変わらない限りは続くと考えられますが、その都度、見直し、検証は大事になってくると思われます。

【議長】 十分な情報公開をしないと、加入者の理解は得られないと考えます。

◆議題3 その他

(次回開催について説明)

- 特記事項 傍聴人なし
次回開催は12月を予定